

令和2年11月12日

学生各位

関西医療大学 学長

新型コロナウイルス感染拡大を防ぐための注意喚起

大阪府は、11月11日（水）に新型コロナウイルス感染対策本部会議を開き、現在の感染状況が感染の第3波に入っていると認識し、『イエローステージ（警戒）の対応方針に基づく要請』として今月12日（木）から28日（土）までの間に

1. 静かに飲食すること
2. マスクの着用を徹底すること
3. 3密で唾液が飛び交う環境を避けること
4. 高齢者と日常的に接するご家族は、感染リスクの高い環境を避け、少しでも症状がある場合、早めに検査を受診すること

などについて、府民に改めて要請しました。

特に、政府の新型コロナウイルス感染症対策分科会で感染リスクが高まる典型的な場面として指摘された次の5つの場面において、感染防止対策の徹底を呼びかけるとしています。

1. 飲酒を伴う懇親会
2. 大人数や長時間に及ぶ飲食
3. マスクなしでの会話
4. 狭い空間での共同生活
5. 居場所の切り替わり（休憩室・喫煙所・更衣室 等）

（※詳細は添付のPDF資料をご覧ください。）

さらに、大阪府の対策本部では、府下の大学に対して、

1. 職場や教室などでは、マスクの着用や換気を徹底すること
2. 休憩室、喫煙所、更衣室などでは、マスクを外した状態での会話を控えること
3. 年末年始の休暇を分散取得すること

の3点を要請することも決定しています。

今後の地域の感染状況をこれ以上悪化させることのないよう、本学におきましても、すべての学生の皆さんが、これ迄と同様にアルコール等による手指消毒の励行に努め、加えて上記の感染防止に関する意識を高めて日々をお過ごしくださいますよう、改めてお願いいたします。

以上

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

